

## 令和元年度の活動報告

- ・ 富山県部会活動報告
- ・ その他活動報告

令和元年 12月 17日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

富山県部会

2019年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動結果）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
1	講演・講習	建設関連企業	協会員企業の新入社員等 合同社員研修	H31	4月8日～ 4月9日	富山市	110	(一社)富山県建設業協会 富山県建設業協会 寺島 Tel.076-432-5576	協会会員企業と富山電業協会の25歳未満の新入社員らを対象に、社 会人としてのマナーや心構えを学び、かつ仕事への意欲向上や同世 代間の交流を図る。	(一社)富山電業協会	
2	インターンシップ	大学	インターンシップ申込み大学	H31	随時	富山県全域	未定	富山県地質調査業協会	事務局	会員各社で実務の学習を行う。	
3	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科2年生	R1	4月26日 5月24日 6月21日	高岡工芸高校	30名	富山県測量設計業協会	(一社)富山県測量設計業 協会 事務局	設計コンサルタント業の仕事内容講義と最新測量機器の使用体験。	
4	その他	大学他	県内高校、高等専門学校、 土木系大学	R1	4～12月	富山市内	富山県、(一社)建設コン サルタンツ協会北陸支部 他	富山県、(一社)建設コン サルタンツ協会北陸支部 他	若手入職者の確保・育成、ならびに土木のイメージアップを図るため、 建設産業の魅力をアピールするPRパンフレット「TSUKURU」を作 成。富山県が主体となり協会として参画予定。今後のリクルート活動 等において積極的に活用を予定している。		
5	説明会	高校	2020年3月卒予定の高校 生	H31	4月20日	高岡市	・(株)東京リーガルマインド (富山労働局委託事業 者)	ヤングジョブとやま Tel.076-445-1996	「高校生のための業界・企業研究会」 2020年3月卒予定の高校生を対象とした合同企業説明会。 30社(うち建設系企業4社)参加。	ヤングジョブとやま 富山県 富山県教育委員会	
6	説明会	大学等、既卒、一 般	大学等、3年以内既卒者、 転職及びUIJターン就職希 望の若者	H31	4月21日	富山市	・(株)東京リーガルマインド (富山労働局委託事業 者)	ヤングジョブとやま Tel.076-445-1996	「若者のための合同企業説明会」 2020年3月卒予定の大学生等、3年以内既卒者、転職及びUIJ ターン就職希望の若者を対象とした合同企業説明会。 140社(うち建設系企業10社)参加。	ヤングジョブとやま 富山県	
7	講演・講習	建設系の高校	富山工業高校3年生	R1	5月10日	富山工業高校	40名	富山工業高校		建設系企業に就職した先輩2名を招いての進路講話(1h程度)	
8	説明会	高校	2020年3月卒予定の高校 生	R1	5月11日	富山市	・(株)東京リーガルマインド (富山労働局委託事業 者)	ヤングジョブとやま Tel.076-445-1996	「高校生のための業界・企業研究会」 2020年3月卒予定の高校生を対象とした合同企業説明会。 30社(うち建設系企業4社)参加。	ヤングジョブとやま 富山県 富山県教育委員会	
9	インターンシップ	大学等	2021年3月卒予定の大学 生等	R1	5月18日	富山市	・(株)東京リーガルマインド (富山労働局委託事業 者)	ヤングジョブとやま Tel.076-445-1996	「インターンシップ説明会」 2021年3月卒予定の大学生等を対象としたインターンシップ説 明会。 103社(うち建設系企業12社)参加。	ヤングジョブとやま 富山県	
10	現場見学	建設系の高校	桜井高校 土木科	R1	5月31日	富山県全域	40名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務 局	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	富山河川国道事務所 富山県
11	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科3年生	R1	5月21日	小矢部市	28名	国土交通省 富山河川国道事務所	国土交通省 富山河川国道事務所	茅橋下部工の建設現場を見学し、体験実習を行う。	
12	出前講座	小学校	立山町高野小学校5・6年生	R1	6月3日	高野小学校	42名	(一社)富山県測量設計業 協会	(一社)富山県測量設計業 協会 事務局	北陸地方測量部による「地図教室」(座学) 富山県測量設計業協会による測量実験体験:①水準測量、②トータル ステーション、③簡易計測機による高さの計測、④歩測 ⑤GPSで身長を図る、⑥ドローン飛行実演	国土地理院北陸地方測量課

2019年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動結果）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
13	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科3年生	R1	6月	富山県全域	28名	富山県農林水産部		林業現場を見学し、林内作業を体験する。	
14	現場見学	大学	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	R1	6月28日	射水市内他	約10名	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部富山事務所	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科の学生に対し、フィールドワークと称した課外授業を開催。建コン協の仕事・役割を説明し、質疑応答、新湊大橋への現場見学会を実施	
15	その他	大学	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科	R1	6月上旬	富山市内	1	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部富山事務所	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科就職担当教員に建コン協のパンフレットを持参し、建設コンサルタンツ協会員の仕事・役割等をアピール	
16	その他	小学校	富山市立杉原小学校6年生	R1	6月27日	立山カルデラ 砂防博物館ほか	55名	富山法人会青年部会	富山法人会青年部会	毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し「総合的な学習」を支援。	
17	その他	小学校	立山町立釜ヶ淵小学校6年生	R1	7月3日	立山カルデラ 砂防博物館ほか	10名	富山県立山土木事務所	富山県立山土木事務所	毎年6月から10月に県内の小学校を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援。	
18	インターンシップ	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科2年生 建築工学科2年生	R1	7月8～10日	富山県全域	80名	富山工業高校		勤労観・職業観を身につける。	
19	インターンシップ	中学校	富山市立堀川中学校2年生	R1	7月8～12日	富山維持(出) 有沢(出) 北枝富山(出)	2名	富山河川国道事務所	富山河川国道事務所	富山県では、中学2年生が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加する「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を実施している。今回、14歳の挑戦を通じて「国土交通省の仕事」を体験していただく	北陸技術事務所
20	講演・講習	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科3年生	R1	7月上旬	富山工業高校	40名	富山工業高校		型枠および鉄筋組立講習(3h程度)	日本型枠工事業協会 鉄筋工事業協同組合
21	現場見学	建設系の高校	南砺福野高校 農業環境科	R1	7月10日	南砺市内	39	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所 調査設計課 河村 0763-33-4761	ダム事業や橋梁工事等の現場を見て、体験してもらうことで建設業界の魅力伝える	
22	現場見学	大学	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科	R1	7月12日	南砺市内	24	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所 調査設計課 河村 0763-33-4761	ダム事業や橋梁工事等の現場を見て、体験してもらうことで建設業界の魅力伝える	
23	その他	大学	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	R1	7月19日	富山市内	1	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部富山事務所	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科担当教授に建コン協のパンフレットを持参し、建設コンサルタンツ協会員の仕事・役割等をアピール	
24	出前講座	大学	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科	R1	7～10月	射水市内	約30名	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部富山事務所	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科に建コン協のパンフレットを基に、建設コンサルタンツ協会員の仕事・役割等を出前講座で説明	
25	体験学習	高校、高専、大学	富山県立桜井高校3年生 富山県立工業高校2年生	R1	7月30日～ 8月1日	立山砂防事務所管内	6名	立山砂防事務所 富山・水・文化の財団	富山・水・文化の財団	立山カルデラでの大自然と、富山平野を土砂災害から守る砂防事業について、実際に砂防工事を体験し、現場で働く人達の苦労や気概に触れ、立山の砂防事業についての認識を深めていただく。	富山テレビ放送
26	その他	大学およびオープンキャンパス来訪者	富山大学	R1	8月2日	富山市内		(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部	(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部富山事務所	8月上旬開催の富山大学都市デザイン学部オープンキャンパスへの出展し、オープンキャンパス来訪者、特に受験生に対して、建コン協の仕事紹介などを説明。また、漫画PR/パンフレット(橋梁・公園・道路の設計を説明)を配布する。	

2019年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動結果）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
27	その他	大学および来訪者 (親子)	富山県立大学	R1	8月2日	射水市内	100名	(一社)建設コンサルタント協会北陸支部	(一社)建設コンサルタント協会北陸支部富山事務所	8月上旬開催の富山県立大学ダヴィンチ祭へ出展(建コン協の仕事紹介、ペーパークラフト制作など)し、祭りに来ている親子、特に小学生を対象にペーパークラフトで橋の構造を知ってもらおう。また、漫画PRパンフレット(橋梁・公園・道路の設計を説明)を配布する。	
28	体験学習	一般県民	一般県民	R1	8月3日	富山県立大学		富山県土木部	富山県土木部建設技術企画課企画調整係 村田 Tel 076-444-3313	富山県立大学 ダヴィンチ祭への出展 ・ラジコン重機操作体験 ・ドローンの飛行実演 ・トータルステーションによる測量体験 ・ペーパーブリッジの製作 ・パネル展示	富山県土木部 (一社)富山県測量設計業協会 (一社)建設コンサルタント協会北陸支部
29	体験学習	一般県民	大学・一般県民	R1	8月3日	富山大学 五福キャンパス	未定	富山大学 (オープンキャンパス)	(一社)富山県測量設計業協会 事務局	屋内:測量計測機器の展示、UAV飛行映像の放映、パネル展示 屋外:UAV、MMS、3Dレーザスキャナ実演展示	
30	その他	一般県民	一般県民	R1	8月3日	富山県立大学	182名	富山県立大学 (ダ・ヴィンチ祭)	富山県建設業協会 事務局	親子向けに建設業の新技术紹介ブースで重機シミュレーター体験、建設VR体験、ラジコン重機操作体験、パネル展示等を通じて理解を求めた	富山県 (一社)建設コンサルタント協会 (一社)富山県測量設計業協会
31	体験学習	一般県民	一般県民	R1	8月3日	富山県立大学	未定	富山県立大学 (ダ・ヴィンチ祭)	(一社)富山県測量設計業協会 事務局	UAV飛行映像の放映、パネル展示 UAV実演展示、TSを利用した距離あてクイズ	
32	現場見学	親子	小学生・中学生・高校生及びその保護者	R1	8月6日	富山市	30	富山県土木部	富山県土木部建設技術企画課企画調整係 村田 Tel 076-444-3313	県政バス教室「富山のどぼく発見！ツアー～親子で学ぼう！陸・空の玄関口～」現在整備中の「富山駅」と、国内外への空の玄関口として重要な交通インフラを担う「富山きとときと空港」の役割を学び、今後の建設業の担い手となりうる子どもたちに土木に関する理解を深めてもらう。	富山市
33	現場見学	高校 高専	県内の高校・高専に在学している方	R1	8月6日	富山市・高岡市・射水市	20	富山県土木部	富山県土木部建設技術企画課建設係 島田 Tel 076-444-3316	高校生インフラツアー 工事現場だけでなく設計や資材製造の現場も含めて幅広く建設産業の工程を見てまわるツアーを開催する。また、ツアーに参加していない高校生にも興味をもつきっかけとなるよう、高校生に配布される仕事情報誌や保護者向けのWEBサイトにレポートを掲載する。	(一社)富山県建設業協会
34	その他	農業系高校	高校生	R1	8月8日	中央農業高校	未定	富山県学校農業クラブ連盟	(一社)富山県測量設計業協会 事務局	平板測量競技をととして測量に関する知識や技術を競い専門的な能力を高める	富山県農業教育振興会
35	出前講座	小学校	立山町立利田小学校6年生	R1	8月28日	利田小学校	47名	斜面防災対策技術協会富山支部	斜面防災対策技術協会富山支部	暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、出前講座を実施。	
36	説明会	大学等、既卒、一般	大学等、3年以内既卒、一般	R1	9月2日	富山市		榊廣濟堂 (富山労働局委託事業者)	榊廣濟堂 富山営業所 Tel076-442-5805	「とやま若者×マッチングフェスタ」 学生、既卒、一般求職者等を対象とした合同企業説明会。 36社(うち建設系企業1社)参加。	
37	講演・講習	建設関連企業	協会員企業の新入社員等 フォローアップ研修	R1	9月2日	富山市	60	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	社会人としてこれまでの振り返りと自己をチェックし、良好な人間関係を築くコミュニケーション法、心の筋力を高める方法などを身につけ、チームの中の自分づくりやモチベーションアップを目的とする。	(一社)富山電業協会
38	現場見学	小学校	立山町立利田小学校	R1	9月3日	立山町	47名	富山県地質調査業協会	事務局	小学生を立山カルデラとカルデラ砂防博物館での体験学習により、防災事業の教育の向上を図る。	国土交通省立山砂防事務所
39	現場見学・施設見学	建設系の大学	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 1・2年生	R1	9月5日	富山市	5名	伏木富山港湾事務所 (一社)日本埋立浚渫協会北陸支部 富山県港湾建設協会	伏木富山港湾事務所 今井 Tel076-441-1904	伏木富山港の建設現場及び港湾施設やその利用について見学。	国土交通省 伏木富山港湾事務所
40	現場見学	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科1年生	R1	9月6日	富山市	38名	伏木富山港湾事務所 (一社)日本埋立浚渫協会北陸支部 富山県港湾建設協会	伏木富山港湾事務所 今井 Tel076-441-1904	伏木富山港の建設現場見学。	国土交通省 伏木富山港湾事務所

2019年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動結果）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
41	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校 建築科2年生	R1	9月17日	富山県全域	40	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う	富山県 小矢部市ほか
42	災害現場調査	大学	富山県立大学工学部環境・ 社会基盤工学科	R1	9月19日	北海道胆振東 部地震調査	2名	富山県地質調査業協会	事務局	協会会員と一緒に国内の災害現場を調査し、災害対応の重要性を学んでもらう。	北海道庁河川砂防課
43	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科2年生	R1	9月20日	富山県全域	30名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	高岡市 富山県 富山河川国道事務所
44	現場見学	建設系の高校	富山工業高校 建築工学科2年生	R1	9月25日	富山県全域	40名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	富山県 小矢部市
45	現場見学	大学	富山県立大学	R1	9月26日	常願寺川		富山河川国道事務所 立山砂防事務所	富山河川国道事務所	常願寺川S44災から今年は50年の節目であることから、常願寺川上流砂防域から下流までの事業をたどる「アニバーサリーツアー」を実施	
46	現場見学	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科2年生	R1	9月27日	富山県全域	40名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	県内の建設現場を見学し、体験実習を行う。	富山県 富山河川国道事務所
47	現場見学	大学	富山大学、富山県立大学の 学生及び教員	R1	9月30日	富山市	20	富山県土木部	富山県土木部建設技術企画課企画調整係 村田 Tel 076-444-3313	「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」 将来の土木技術者を目指す学生及び新任教員を対象として、富山県内の土木・建築の見学会を開催する。	上市町、富山県道路公社
48	現場見学	大学	富山大学女子学生1～2年	R1	10月1日	富山県全域	16名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	大学的女子学生を対象に県内の建設現場を見学し、体験学習を行う	富山県 富山河川国道事務所
49	現場見学	大学	富山大学 都市デザイン学 部 1・2年生	R1	10月2日	富山県全域	16名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	大学的女子学生を対象に県内の建設現場を見学し、体験学習を行う	富山県 富山河川国道事務所
50	合同企業セミナー	建設系の高校、大 学	富山大学 都市デザイン学 部 1・2年(82名) 富山県立大学工学部2年(40 名) 高岡工芸高校土木環境科1 年(40名) 南砺福野高校農業環境科1.2 年(40名) 桜井高校土木科2年(39名) 富山工業高校1.2年(79名)	R1	10月2日～3日	富山市	320名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	「けんせつフェア北陸in富山2019」の関連イベントとして、地元建設関連企業による情報発信、将来の入職促進および企業と学生の情報のミスマッチ解消のため、合同企業セミナーを実施	北陸地方整備局 富山県 県内企業
51	出前講座	普通科高校	富山中部高校	R1	10月5日	富山中部高校	12名	富山河川国道事務所	富山河川国道事務所	富山中心市街地での築堤事業にあわせ、普通科高校である富山中部高校にて、建設系の仕事を含め出前講座	(一社)富山県建設業協会
52	出前講座	大学	富山県立大学 工学部環境・社会基盤工学科 3年次学生	R1	10月	富山県立大学	約30名	(一社)富山県測量設計業 協会	(一社)富山県測量設計業 協会 事務局	富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科に、測量設計、建設コンサルタントとしての仕事・役割等を出前講座で説明	
53	出前講座	大学	富山県立大学	R1	10月17日	射水市	10	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業の社会的役割やものづくりの魅力を紹介し、入職促進に関する情報を発信する。	富山県

2019年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動結果）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨	
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名	
54	保護者との懇談会	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科、建築科	R1	10月19日	高岡市	20	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業の現状や高校OBの技術者、地元の建設企業経営者から仕事の内容について説明し、意見交換を行う。	富山県 地区協会
55	出前講座	建設系の高校	南砺福野高校 農業環境科	R1	10月21日	南砺市	30	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業の社会的役割やものづくりの魅力を紹介し、入職促進に関する情報を発信する。	富山県 地区協会
56	説明会	大学等、既卒、一般	大学等、3年以内既卒、一般	R1	10月21日	富山市		㈱廣濟堂 (富山労働局委託事業者)	㈱廣濟堂 富山営業所 Tel.076-442-5805	「とやま×マッチングフェスタ」 学生、既卒、一般求職者等を対象とした合同企業説明会。 39社(うち建設系企業2社)参加予定。	
57	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科、建築科	R1	10月24日	高岡市	80	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 寺島 Tel.076-432-5576	建設業の社会的役割やものづくりの魅力を紹介し、入職促進に関する情報を発信する。	富山県 地区協会
58	その他 女子学生と女性 技術者等との意 見交換会	大学	富山県立大学 (1年6名、2年19名、3年12 名)	R1	10月28日	富山市	37名	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業界で活躍する女性技術者とこれから働く学生が建設業界で女性としての働き方、女子学生の悩みや今後の進路などを意見交換した。	富山県
59	現場見学	建設系の高校	南砺福野高校 農業環境科1年(29名)+3年 (2名)	R1	10月30日	富山県全域	31	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う	富山河川国道事務所 富山県
60	インターンシップ	大学	富山県立大学	R1	10月	未定	2名	富山県地質調査業協会	事務局	協会会員と一緒に国内の災害現場を調査し、災害対応の重要性を学んでもらう。	国土交通省
61	現場見学	建設系の高校	富山工業高校 建築工学科	R1	10月頃	富山県全域	40	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 寺島 Tel.076-432-5576	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う	富山県 富山市
62	保護者との懇談会	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科、建築工学科	R1	10~11月頃	南砺市	20	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 寺島 Tel.076-432-5576	建設業の現状や高校OBの技術者、地元の建設企業経営者から仕事の内容について説明し、意見交換を行う。	富山県 地区協会
63	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科・建築科1年生	R1	未定 (10月~12月)	高岡工芸高校	80名	富山県土木部	富山県建設業協会	建設業の現況や施策、建設技術者の仕事を学ぶ。	
64	現場見学	建設系の高校	高岡工芸高校 建築科	R1	11月頃	富山県全域	40	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 寺島 Tel.076-432-5576	県内の建設現場を見学し、体験学習を行う	富山県 高岡市
65	その他	大学	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科	R1	11月8日	富山市内	30	(一社)建設コンサルタン ツ協会北陸支部	(一社)建設コンサルタン ツ協会北陸支部富山事務 所	富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科の就職担当教 学生に対し、建コン協のパンフレットを持参し、建設コンサルタンツ協 会員の仕事・役割等をアピール	
66	現場見学	大学	富山県立大学工学部環境・ 社会基盤工学科	R1	11月18日	南砺市内	28	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所 調査設計課 河村 0763-33-4761	ダム事業や橋梁工事等の現場を見て、体験してもらうことで建設業界 の魅力を伝える	
67	現場見学	建設系の高校	桜井高校 土木科2年生	R1	11月21日	黒部川	39名	国土交通省 黒部河川事務所	黒部河川事務所 調査課	土木科2年生を対象に、ITC建機による黒部川河川改修工事(堤防改 修)の現場見学。	黒部河川事務所 富山県建設業協会入善支 部
68	出前講座	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科2年生	R1	11月~1月	高岡工芸高校	31名	富山県左官事業協同組合		左官工事の知識と左官作業の技術を学ぶ。	

2019年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて（活動結果）

【提出様式】

①	②	②-2	④	⑤	⑤-2	⑥	⑦	⑦-2	⑧	⑨
取組分類	対象の分類	対象者の名称	年度	日付	実施場所 (市町)	予定 人数	実施機関名	窓口・問い合わせ先 (団体・担当部署)	実施概要 (※特徴を具体的に記入)	連携機関名
69	建設系の高校	高岡工芸高校 土木環境科2年生	R1	11月～1月	高岡工芸高校	31名	日本型枠工事業協会		型枠工事の知識と鉄筋コンクリート型枠の組立技術を学ぶ。	
70	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科2年生	R1	12月上旬	富山工業高校	40名	富山工業高校		土木工学科2年生を対象にした出前講座(2h程度)	国土交通省 伏木富山港湾事務所 富山河川国道事務所
71	建設系の高校	桜井高校 土木科1年生	R1	12月6日	黒部川	40名	国土交通省 黒部河川事務所	黒部河川事務所 調査課	土木科に進学された1年生を対象に、宇奈月ダムの現場見学を通して、土木の技術力を学んでもらう。	黒部河川事務所 富山県建設業協会入善支部
72	保護者との懇談会	富山工業高校 土木工学科、建築工学科 1～2年生の保護者	R1	12月10日	富山市	20	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業の現状や高校OBの技術者、地元の建設企業経営者から仕事の内容について説明し、意見交換を行う。	富山県 地区協会
73	建設系の高校	富山工業高校 土木工学科、建築工学科1年 生	R1	12月17日	富山市	80	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 寺島 TEL076-432-5576	建設業の社会的役割やものづくりの魅力を紹介し、入職促進に関する情報を発信する。	富山県 地区協会
74	建設系の高校	桜井高校 土木科	R1	1月21日	黒部市	40	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業の社会的役割やものづくりの魅力を紹介し、入職促進に関する情報を発信する。	富山県 地区協会
75	保護者との懇談会	桜井高校 土木科2年生の保護者	R1	1月21日	黒部市	40	(一社)富山県建設業協会	富山県建設業協会 事務局	建設業の現状や高校OBの技術者、地元の建設企業経営者から仕事の内容について説明し、意見交換を行う。	富山県 地区協会
76	建設系の高校	富山工業高校2年生	R1	2月上旬	富山工業高校	40名	富山工業高校		土地家屋調査士の業務内容等についての出前講座(1h程度)	土地家屋調査士会
77	建設系の高校	桜井高校 土木科	R1	2月頃	桜井高校	未定	黒部河川事務所	黒部河川事務所 調査課	講座(土木について) ※民間と公務員の仕事の違い等	黒部河川事務所 富山県建設業協会入善支部
78	講演・講習	立山町立小学校、富山県立大学	R1	2月	富山市	未定	富山県地質調査業協会	事務局	学習の成果を講演会で体験学習と現場研修の成果を発表してもらう。	立山砂防事務所
79	その他	県内大学、高校	R1	H31.4～R2.2 月	富山市内		富山県、(一社)富山県建設業協会、(一社)建設コンサルタント協会北陸支部、(一社)富山県測量設計業協会	富山県土木部 建設技術企画課	平成27年度に魅力発進の一つとして、女性の視点で建設業の魅力をPRするパンフレット「TSUKURU」を作成し、県内の高校生や高等専門学校生、大学生へ配布してきたが、測量や設計、工事など多くの人が携わり社会基盤が整備されていることを知ってもらい、より幅広く建設産業の魅力をアピールするため、「TSUKURU」の続編を作成し、配布する。	富山河川国道事務所

# R1.7.3 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 砂防堰堤とは？ ～立山町立釜ヶ淵小学校～

## TATEYAMA SABO

立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学校を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日：令和元年7月3日（水）10：00～11：50

場所：立山砂防事務所  
立山カルデラ砂防博物館

参加者：立山町立釜ヶ淵小学校  
6年生：10名 引率教諭：2名

※今回は、富山県立山土木事務所が行う  
「こども砂防教室」の一環として開催されました。



### 土石流模型実験



土石流の特徴や非常時の備えを勉強しました！



### 砂防堰堤見学

常願寺川の立体地図を見ながら砂防と富山平野の関係を勉強！



### 土石流体感3Dシアター

砂防堰堤の役割や立山カルデラについて勉強！



トロッコに乗車  
いってきま～す！



児童からお礼の言葉をいただきました！



R1.7.30-8.1

がっ こう

# 「第23回 SABO体験楽校」を開催！



砂防工事などを体験的に学ぶことにより、砂防事業に対する認識を深めてもらうことを目的として、富山県内の高校生が参加する「SABO体験楽校」を毎年開催しています。第23回となる今年の「SABO体験楽校」では、6名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開校期間：令和元年7月30日(火)～8月1日(木)【2泊3日】  
 実施場所：立山砂防事務所、水谷出張所（立山カルデラ内）  
 参加者：富山県立桜井高等学校 1名  
 富山県立富山工業高等学校 5名 計6名  
 主催：国土交通省 立山砂防事務所  
 一般財団法人 富山・水・文化の財団



立山カルデラ砂防博物館見学



天蓮の清掃掃(協力:松嶋建設㈱)



土砂災害模型実験



無人化施工とICT施工体験(協力:㈱岡部)



コンクリート打設体験(協力:丸新志鷹建設㈱)



ドローン操作体験(協力:㈱林土木)



ロープ作業体験(協力:新栄建設㈱)



生コンプラント見学(協力:水谷生コンクリート事業(協))



枕木交換体験(協力:富山地鉄建設㈱)



### 参加された生徒の感想

- 立山の事や現場での作業について学ぶことができました。
- この体験を今後の学校生活などで活かしていきたいです。
- 今回学んだ事を活かして、これからの進路選択の参考にしたいです。
- 沢山の体験ができ、とても有意義な体験楽校となりました。
- 3日間という短い期間で貴重な体験が沢山できました。

R1.10.23

# 「利田小学校」で出前講座！“土砂災害の実験を体験”



今年の8月に続いて、6年生に向けた出前講座を実施しました。前は、常願寺川の特徴や土砂災害のメカニズム等々について勉強しましたが、今回は、より理解を深めるため土砂災害に関する実験を行い、児童達は実際に土砂災害のミニ模型や実験を体験しました。この講座の直前に発生した台風19号による災害報道の影響で土砂災害のニュースを見る機会も多かったため、児童達も興味を持って積極的に取り組んでいました。

開催日：令和元年10月23日(水)  
場所：立山町立利田小学校  
参加者：6年生 1組(23名)  
                  2組(24名)  
                  教員 (3名)



土砂災害についておさらいをしよう！

パネル説明



がけ崩れ模型実験



地すべり模型実験



土石流模型実験



堰堤をつくと土砂の流出を抑えられるんだよ

屋外での実験



自分で実験すると、よくわかる！



今日はありがとうございました！

今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援したものです。

第一回目の出前講座は、8月28日に開催しました。VOL. 22で紹介していますので、是非ご覧下さい。

R1.11.27

# 「常願寺川昭和44年の大災害から50年」 現地見学会を開催！ ～立山町立高野小学校～



常願寺川で観測史上最大洪水である昭和44年8月洪水から令和元年で50年となります。これを契機に当時の状況を知らない子供たちを対象に常願寺川の歴史や治水に触れ、学習することを目的として、11月27日(水)、現地見学会を開催しました。

本宮砂防堰堤からスタートして、常願寺川沿いの砂防施設などを見学し、砂防施設の役割や治水事業の必要性について学びました。また、富山防災センターでは災害対応車両を見学し、災害時の支援活動について学びました。

参加した立山町立高野小学校の5年生たちは、熱心に職員の説明に耳を傾け、積極的に質問をするなどして理解を深めました。

開催日：令和元年11月27日(水) 8:30～12:00  
案内：立山砂防事務所、富山河川国道事務所  
北陸技術事務所富山出張所  
参加者：立山町立高野小学校 5年生(24名)、教員(2名)

(見学コース)本宮砂防堰堤→ピストル型水制、上滝床固  
→大場の大転石→富山防災センター



よろしくお願いします！



出発！



日本最大級の貯砂量を持つ堰堤なんだよ

本宮砂防堰堤



メモメモ...



ピストル型水制

急流から堤防を守るんだ！



ゴム板を貼って、長く使えるように補修をするよ！

上滝床固



こんなに大きな石が流されてきたの！？

大場の大転石



富山防災センター

震度7を体験！

千曲川の災害現場にも出動しているよ！



ありがとうございました！！

Date:2019/8/8



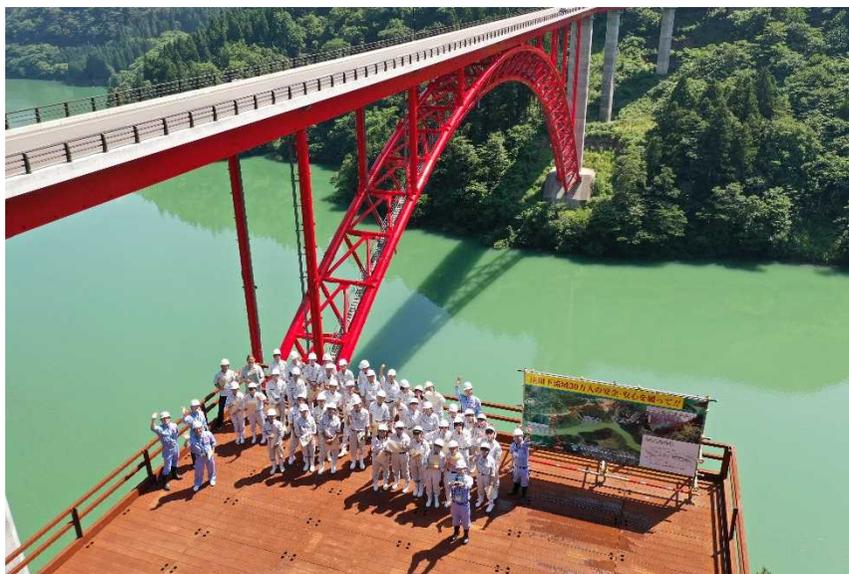
## 富山県立南砺福野高校生39名が 利賀ダムの工事現場を見学



令和元年7月10日(水)に富山県立南砺福野高等学校の農業環境科1・2年生の生徒39名が利賀ダムの工事現場を見学しました。

この見学会は、建設業界の担い手確保・育成を目的として、ダム事業や橋梁工事等の現場を見て、体験してもらうことで建設業界の魅力を高校生に伝えるものです。

現在、利賀ダム工事事務所には南砺福野高校を卒業した先輩が4名おり、先輩方からの事業・工事の説明を熱心に聞き入る生徒たちの様子が見られました。



UAVIによる記念撮影(利賀大橋)



職員からの説明に熱心に聞き入る生徒たち



ボルト締め体験(シクルビ谷橋)



展望台からダム建設予定地を望む



座学の様子

シクルビ谷橋の現場では、生徒全員にボルト締め体験をしてもらいました。自分で締めたボルトを記念に持ち帰る生徒がみられ、橋梁工事にとても関心を持っている様子でした。

見学会の最後には、代表生徒より「見学で学んだことを今後の課題学習に生かしたい」との挨拶をいただきました。



利賀湖面橋の見学



代表生徒からの挨拶



Date:2019/10/29



## 石川高専3年生を対象に 出前講座を実施しました！



参考

令和元年10月25日(金)に石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生を対象に、利賀ダム工事事務所の田村事務所長(長岡高専OB)と調査設計課出村技官(石川高専OB)が出前講座を実施しました。

出前講座は、北陸地方整備局が行っている事業や施策について、知っていただくとともに、ご意見やナマの声を聞かせていただく場として実施しています。

今回の内容は、①北陸地方整備局および利賀ダム工事事務所の概要、②ダムの役割、③最近の気候や災害等の話題についてお話しさせていただきました。先日の台風第19号による大規模災害と現在の復旧状況についての説明の際、全学生が真剣に聞き入っている様子が見られました。

講座は、小中学生や高校生の総合学習にご活用頂けるものから、専門家などを対象としたものまで幅広く用意しており、地方整備局のことをもっと知っていただくために、今後も出前講座を実施していきますので、お申し込みお待ちしております。

⇒ [申し込み方法はこちら](#)



## 令和元年度「子供防災教室(立山カルデラ砂防勉強会)」の開催結果

### ○目的

- 安政5年(1858)の地震により、常願寺川上流の立山カルデラ内で4.1億立方メートルの大崩壊が発生し、その土砂が土石流となり下流の富山平野で140名の死者を出しました。
- 未だその半分の2億立方メートルがカルデラ内に堆積しており、今日の荒廃の原因になっています。常願寺川では大雨が降るたびに、富山平野に土砂を流す暴れ川となり、砂防事業は明治39年(1905)富山県で着手し、大正15年(1926)国の直轄事業に移され、現在も、富山平野を土砂災害から護るため、劣悪(不便、危険)な環境の中で、多くの人たちが働いています。
- 富山県では、「立山・黒部」の世界文化遺産登録を目指し、カルデラ内の立山砂防を中心に国際的な評価の検証・確立等に取り組んでおられます。
- 富山支部では、平成25年から、斜面防災の重要性を流域の小学生を対象に、直接カルデラ内での体験学習の場を企画し実施しており、今回は7回目となります。
- 常願寺川流域の小学生が、自分たちが生活している土地や、人の安全のために行われているカルデラ内の防災事業の砂防を勉強し、常願寺川の自然や砂防・治水などについて学び、斜面防災の大切さに関する教育の向上を目的としています。

### ○実施日

令和元年9月3日(火)天気:晴れ

### ○場所

立山カルデラ(富山市、立山町)現地

### ○参加者

立山町立利田小学校6年生

(生徒47名、教員2名、案内・随員7名、合計56名)

### ○

主催:(一社)斜面防災対策技術協会富山支部

協力:富山県、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所

### ○勉強会行程(小学校8時30分発~17時着)

利田小学校 発⇒立山カルデラ砂防博物館⇒立山砂防事務所出発(10時)トロッコ⇒水谷平(昼食)⇒白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)⇒六九谷展望台⇒立山温泉跡地⇒跡津川断層⇒有峰記念館⇒利田小学校 着

白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)



六九谷展望台



立山温泉跡地



# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(社会資本の役割や建設産業の魅力のPR)

## 県政バス「富山どぼく発見！ツアー」(H20～)

- ・令和元年8月6日(火)実施 20名参加(子供11名、保護者9名)
- ・小学生以上18歳以下の子供とその保護者等を対象
- ・県内の土木施設や施工現場などを見学  
(主な内容) ・富山駅南周辺整備、富山きときと空港 等
- ・富山テレビ放送「元気とやま みんなのクイズ」に回答者として参加



富山駅



富山きときと空港

## 富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展(H28～)

- ・令和元年8月3日(土)実施 184名受付(高校生以下102名、一般82名)
- ・建設業協会、建設コンサルタント協会、測量設計業協会と連携して実施
- ・建設業のイメージアップ、将来の担い手確保のため、楽しみながら建設技術を体験  
(主な内容)
- ・ドローンの飛行実演 ・測量体験 ・VR(バーチャルリアリティ)建設現場体験
- ・ラジコン重機の遠隔操作 ・ペーパーブリッジの製作 ・重機のシュミレータ操作体験



重機シュミレータ



ペーパーブリッジ

## 「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」(H29～)

- ・令和元年9月30日(月)実施 20名参加(学生15名、教員5名)
- ・富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者を目指す両大学の学生及び教員を対象とした見学会を開催  
(主な内容)
- ・ラウンドアバウト：陽南環状交差点(上市町)
- ・雑穀谷13号堰堤工工事(富山県) ・桂台第2ロックシェッド工工事(道路公社)



ラウンドアバウト



雑穀谷13号堰堤工

## 「建設のプロに会いに行こう！高校生のための現場見学ツアー」(R1)

- ・令和元年8月6日(火)実施 3名参加(高校生3名)
- ・工事の現場のみならず、インフラ造りを支える「資材の製造」や「構造物の設計」など、幅広く建設産業の工程を訪ねるインフラツアーを開催
- ・県内の高校生に直接配布される仕事情報誌にインフラツアーレポートを掲載し、広く建設業の魅力を発信する予定(令和2年2月発行予定)  
(主な内容) ・橋梁の設計現場 ・生コンクリートの製造現場 ・鉄筋用棒鋼の製造工場
- ・コンクリート二次製品工場 ・橋梁の架設現場



県道高岡環状線  
橋梁架設工事

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成)

## 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

### ○女性が活躍できる労働条件改善補助事業

建設企業等が行う、最新型の作業服等(空調付き作業服・ヘルメット等)の購入、労働条件改善のための社内規定の整備(育児・介護休業制度の導入等)など、女性も働きやすい職場になるような労働環境改善の取り組みへの支援を実施(H27～)

【R1申請】  
・トイレの改修 2社  
・最新型作業服の導入 2社  
・社内規定の整備 1社



空調付き作業服

### ○建設業若者活躍支援事業

事業者団体が行う、若年層の入職・定着・育成の取り組みへの支援を実施(H30～)

- ・資格取得支援講座 <対象>在職者  
土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座の開催
- ・就職直前技能向上研修 <対象>高校生  
玉掛け及び小型移動式クレーン運転技能講習の開催
- ・新入社員向け研修 <対象>新入社員  
技術力向上や離職防止を図るための研修の開催



女性活躍推進のパンフレット

### ○「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業

内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、建設企業における女性活躍推進を図るため、女子学生による現場見学会・座談会や経営陣を対象とした研修会を開催(H30～)

## 建設業以外の新分野への進出に取り組む建設企業に対する支援

### ○建設業新分野進出等支援補助事業

経営基盤の強化に向け、プラン策定、事業立ち上げ、事業定着に要する費用を助成し、建設企業の新分野進出を支援(H18～)

【R1申請】 3社



木製品の企画・製作・販売



完全人工光型植物工場

# 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」

- 目的: 富山県では、中学2年生が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加する「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を実施している。  
規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けることが目的。
- 日時: 令和元年7月8日(月)～12日(金)
- 場所: 富山河川国道事務所(有沢出張所、富山国道維持出張所)、北陸技術事務所富山出張所
- 参加者: 富山市立堀川中学校(生徒: 男子1名、女子1名)2名



事業概要説明



災害対策車の設営体験



堤防除草作業の見学



スランプ試験体験



橋梁点検体験



道路巡回体験



体験報告会

＜生徒の感想＞

- ・やる時はやり、休むときは休む、メリハリをつけて生活することを今後の学校生活で取り入れたい。
- ・川にある樋門がなぜあるのか知ることができた。
- ・橋の点検は細かい作業で、とても大変だった。

# 富山大学オープンキャンパスへ参加しました

◆富山大学都市デザイン学部のオープンキャンパスに昨年に引き続き参加しました。昨年度よりさらに若手職員を増強、オープンキャンパスに来場される高校生や都市デザイン学部の学生へ若手職員が説明対応することにより、国土交通省の仕事が身近なものと感じていただけたと思います。

日 時 : 令和元年8月3日(土) 9:00~16:00  
場 所 : 富山大学五福キャンパス 都市デザイン学部  
対 象 : 富山大学 都市デザイン学部学生及び富山大学を次年度受験予定高校生



# 建設業は「縁の下の力持ち」 富山中部高校進路講演会



富山河川国道事務所

- 目的: 県立富山中部高校において、生徒の進路意識を高めることを目的とし、各分野で活躍する社会人を講師に招き、社会人としての生き方、実際の職場の状況、大学の学問との結びつきについて講演
- 日時: 令和元年10月5日(土) 13:30~14:30
- 場所: 富山県立富山中部高等学校
- 講師: 富山河川国道事務所技術系職員2名、富山県建設業協会((株)高田組1名)
- 参加者: 富山中部高等学校1年生(治水に関心がある生徒: 男子8名、女子4名)

## 国土交通省職員による講演



国家公務員になるための流れを説明 技術系若手職員の一日の仕事を紹介。

## ○一日の流れ

- 7:30 起床
- 8:20 出社
- 8:30 始業(メールチェック、スケジュールの確認)
- 9:00 会議資料の準備、要点の再チェック
- 10:00 会議(発注する工事の説明)
- 12:00 昼食
- 13:00 議事録作成(会議のメモおこし)
- 14:00 上司に内容チェック依頼、業者に作業指示
- 15:00 工事箇所の現地立ち会い
- 17:30 退庁



## ○入省して・・・

- ・道路、河川、砂防、海岸・・・と多種多様な業務を経験することができる。
- ・いろいろな土地で仕事ができる。
- ・休暇がとりやすい  
(今年度はGW10連休、お盆休み9連休取得)
- ・自分が発注した工事が完成した時の達成感がすごい。
- ・残業手当がしっかりつく。



休暇が取りやすい職場環境であることに興味あるように感じました。

## (株)高田組堂口専務取締役による講演



熱心に聞く生徒のみなさん。中にはハインリッヒの法則を知っている生徒もいました。

## 工事現場に潜む危険要因について



【生徒の感想】  
建設業が縁の下の力持ちであるという言葉が一番印象に残った。私たちの生活を支える重要な職業であると感じた。

# 女子大学生と女性技術者による建設現場見学会を開催しました

◆(一社)富山県建設業協会主催による『もっと女性が活躍できる建設業』の一環として、建設系学科を専攻する女子大学生を対象に富山河川国道事務所発注の女性技術者が活躍している建設現場で見学会を開催しました。

見学会では県内建設企業への入職や定着を促進するため、工事説明のほか、女性技術者の活躍や待遇、就業環境などの現状説明、MCバックホウ※1による実演、最新測量機器による測量体験を行いました。

日時 : 令和元年10月1日(火) 14:25~15:25  
場所 : 富山市葛原地先(神通川・堤防強化及び河道内整備その2工事)  
見学者 : 富山大学 都市デザイン学部の女子学生16名  
体験内容 : MCバックホウ実演、3次元測量、丁張・くい打ち体験など  
女性技術者による仕事の経験談、就業環境、建設業の魅力についてなど談話

※1 マシンコントロールシステム付きバックホウ



# 報道結果 (191001\_女子大学生と女性技術者による見学会)

◎ 取材者数: 4者 (一般紙2者: 北日本新聞社、富山新聞社、業界紙2者: 建設工業新聞、建設新報)  
 報道結果: 3紙 (一般紙2紙、業界紙1紙)

北日本新聞  
 令和元年10月3日(木) 朝刊(22面)

**富山大女子学生  
 工事現場を見学**  
 技術者の仕事に理解  
 富山 富山大都市・交通  
 デザイン学科の女子  
 学生を対象にした工事現場  
 見学会が1日、富山市葛原  
 (大沢野)で開かれ、参加  
 した16人が女性技術者の仕  
 事や建設業に理解を深め  
 た。

県内建設企業への女性の  
 就職を促進しようと、県建  
 設業協会が企画。見学した  
 現場では、昨年7月の豪雨  
 で被災した神通川左岸で堤  
 防強化と護岸工事が進んで  
 いる。射水建設興業(高岡)  
 の監理技術者(金塚歩美さ  
 ん)に女性用トイレを案内し  
 てもらった後、女子学生は

金塚さん(手前左)から  
 説明を受ける女子学生

衛星利用測位システム(GPS)を用いた建設機械の  
 操作を見学し、測量やこ  
 打ちを体験した。

1年生の酒谷架音さん  
 (19)は「建設業のイメージ  
 が変わった。進路はまだ未  
 定だが、参考になった」と  
 話していた。



富山新聞  
 令和元年10月2日(水) 朝刊(22面)

**女子大生が測量**  
 富山、射水 建設現場を見学

県建設業協会は1日、富山、  
 射水市で女子大生を対象とし  
 た建設現場見学会を開き、富  
 山市デザイン学部1、2年  
 の16人が建設業界に理解を深  
 めた。

学生は各現場の様子を見て  
 回り、現場で活躍する女性社  
 員に仕事のやりがいや職場環  
 境について話を聞いた。富山  
 市葛原の河川工事の現場で  
 は、測量の機器を使ったり、  
 くいを打つ作業を体験したり  
 した。

測量作業を体験する学生  
 富山市葛原

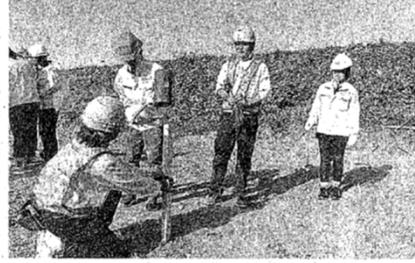


建設工業新聞  
 令和元年10月3日(木) 朝刊(5面)

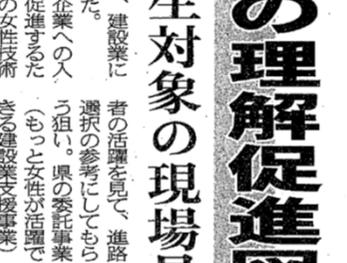
**建設業への理解促進図る**  
 女子学生対象の現場見学会  
 県建設業協会

富山県建設業協会は、  
 1日、富山大学の女子  
 学生を対象とした、建  
 設現場見学会を開い  
 た。県内3カ所の現場  
 へ、現場での女性技術  
 者の活躍を見学し、進路  
 選択の参考にしてもら  
 う狙い。県の委託事業  
 として開くもの。  
 この日は、都市デザ  
 イン学部の1、2年生  
 約20人が参加。県発注  
 の「富山県立大学新棟  
 新築等工事」、「主要  
 地方道富山立山公園線  
 藤木高架橋上部工  
 事」と、北陸地方整備  
 局富山河川国道事務所  
 が発注した「神通川・  
 葛原地区堤防強化及び  
 河道内整備工事」の現  
 場を順に見て回った。  
 このうち、葛原地区  
 堤防強化及び河道内整  
 備工事の現場では、し  
 じめに富山河川国道事  
 務所の谷口和哉工事品  
 質管理官が事業概要を  
 説明。引き続き、同工  
 事を担当する射水建設  
 興業の監理技術者であ  
 る金塚歩美氏が、女性  
 技術者の役割や1日の  
 スケジュールなど働き  
 方をアドバイス。その  
 ほかに、現場体験実習と  
 してMCバックホウに  
 乗車したり、3次元測  
 量・丁張・くい打ちも  
 体験した。また、女性  
 専用トイレなど  
 も見学し  
 た。質疑で  
 は、金塚氏  
 が待機や資  
 格について  
 「男女の差  
 はない。待  
 遇も徐々に  
 良くなって  
 きている」と  
 話し、家  
 庭と仕事の  
 両立につ  
 いては「他の  
 業種で働く  
 方と同じ。家族や同僚  
 と協力しあって」と語  
 った。参加した1年生  
 の酒谷架音さんは、  
 「操作が難しかった。  
 就職先に土木は考えて  
 いなかったが、IT化  
 が進んでいるイメージ  
 と全然違った。女性で  
 も差がなく働ける」と  
 感想を話した。

参加者による集合写真  
 写真は、金塚氏  
 が待機や資  
 格について  
 「男女の差  
 はない。待  
 遇も徐々に  
 良くなって  
 きている」と  
 話し、家  
 庭と仕事の  
 両立につ  
 いては「他の  
 業種で働く  
 方と同じ。家族や同僚  
 と協力しあって」と語  
 った。参加した1年生  
 の酒谷架音さんは、  
 「操作が難しかった。  
 就職先に土木は考えて  
 いなかったが、IT化  
 が進んでいるイメージ  
 と全然違った。女性で  
 も差がなく働ける」と  
 感想を話した。



3次元測量を学ぶ様子(中)とくい打ちを体験する学生



富山県建設業協会  
 女子学生対象の現場見学会



参加者による集合写真  
 写真は、金塚氏  
 が待機や資  
 格について  
 「男女の差  
 はない。待  
 遇も徐々に  
 良くなって  
 きている」と  
 話し、家  
 庭と仕事の  
 両立につ  
 いては「他の  
 業種で働く  
 方と同じ。家族や同僚  
 と協力しあって」と語  
 った。参加した1年生  
 の酒谷架音さんは、  
 「操作が難しかった。  
 就職先に土木は考えて  
 いなかったが、IT化  
 が進んでいるイメージ  
 と全然違った。女性で  
 も差がなく働ける」と  
 感想を話した。

◆(一社)富山県建設業協会主催による『建設業界の雇用改善促進事業』の一環として、富山河川国道事務所発注の建設現場で富山県立南砺福野高校生がi-Constructionを間近で体験しました。

見学会では建設業界の担い手確保と育成を目的として、事業や工事の説明のほか、建設現場での最新測量機器による測量体験、ICT\*建設機械による実演見学、若手技術者及び女性技術者による「建設業の魅力」の発信を行いました。

- 日時 : 令和元年10月30日(水) 9:20~11:50
- 場所 : 砺波市芹谷(国道359号砺波東バイパス事業)及び同市太田(庄川・太田護岸その5工事)
- 見学者 : 富山県立南砺福野高等学校 農業環境科1年生29名、3年生2名(建設企業内定者)
- 体験内容 : 杭ナビ体験、3Dレーザースキャナー説明、ICT建設機械実演見学、ドローン操作体験、高所作業車乗車、若手技術者及び女性技術者による仕事内容と建設業の魅力について

\*ICT=" INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGY" = 「情報通信技術」



南砺福野高校OBによる「建設業の魅力」発表



若手技術者と女性技術者による「建設業の魅力」発表



「杭ナビ」体験



ドローン操作体験



高所作業車による現地状況の確認



「3Dレーザースキャナー」操作体験



ICT建設機械の見学



墨だし体験

# 報道結果 (191030\_南砺福野高校見学会)

◎ 取材者数: 4者 (一般紙2者: 北日本新聞社、富山新聞社、専門紙2者: 建設工業新聞、建設新報社)  
 報道結果: 3紙 (一般紙2紙、専門紙1紙)

建設工業新聞  
 令和元年10月31日(木) 朝刊(5面)

北日本新聞  
 令和元年10月31日(木) 朝刊(35面)

富山新聞  
 令和元年10月31日(木) 朝刊(22面)

○…県建設業協会は30日、砺波、南砺市内の建設現場で見学会を開き、南砺福野高校農業環境科の生徒31人が建設業への理解を深めた。写真。

○…同協会が県内の建設関係学科の生徒を対象に1991年から年6回実施している。この日は砺波東バイパスやため池の工事現場を案内した。

○…庄川左岸の護岸工事



では情報通信技術(ICT)を活用したショベルカーを紹介。担当者は「最新技術で市民の安全安心に貢献してほしい」と将来の担い手に期待を寄せていた。

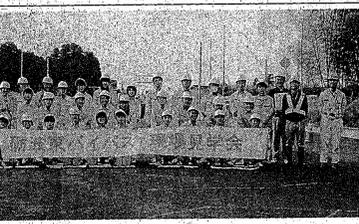
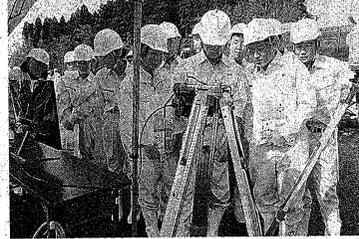


最先端の測量体験  
 建設業に理解深め  
 南砺福野高校生  
 県建設業協会の「高校生  
 の建設現場見学会」写真

20日は、砺波市芹谷の国道359号砺波東バイパス工事現場など3カ所で開かれ、南砺福野高農業環境科の1、3年生21人がICT(情報通信技術)を使った建設業の魅力を理解した。

砺波東バイパス工事現場では、レーザー光線を照射して3次元の図面を作成する測量機器を体験した。1年生の前田琉衣さんは「最先端の機器で現場の負担が軽くなっていることが分かった」と話した。

今村組(小矢部市)の川合葉月さん(23)らが道路工事の達成感など建設業のやりがいを紹介した。



参加者による記念撮影

生徒はその後、班を分かれ、杭ナビと3Dレーザーキャナールの最新測量機器を学習、説明を受けながら、実際に機器に触れ体験した。

同事業を施工を担当している会社から、若手・女性技術者も

**最新の測量機器など体験**  
**南砺福野高校生が現場見学会**  
 県建設業協会

富山県建設業協会は30日、南砺福野高校の生徒を対象とした建設現場見学会を開催した。参加した農業環境科の1年生20名と3年生3名(建設企業内定者)は、発注工事で砺波市内の▽野池池堤体築立工事▽谷合二期地区整備工事▽庄川左岸の護岸工事

普通立ち入り機会がない、砺波東バイパス事業(伊加波渡大橋)▽庄川、太田護岸その5工事と、建設業の魅力などに理解を深めた。

この日は、国土交通省▽建設業の魅力を理解を深めた。

▽建設業の魅力を理解を深めた。

▽建設業の魅力を理解を深めた。

らも参加し、生徒の受け入れに協力した。見学会では、富山河川国道事務所の中川英男建設専門官が、「新技術であるGNSSを活用したICT施工で、精度の高い工事を行っている工場の特長を説明。鹿島道路の桑田直人氏は、道路や舗装の役割を紹介した上で、「舗装工事では、最新の測量技術によるICTを専らとした自動化工具が主流になっていく」と解説した。

生徒はその後、班を分かれ、杭ナビと3Dレーザーキャナールの最新測量機器を学習、説明を受けながら、実際に機器に触れ体験した。

同事業を施工を担当している会社から、若手・女性技術者も

る川合葉月氏(今村組)、男野愛美氏(鹿島道路)、森田もも氏(北川ヒューテック)、小田知三氏(興和)、雨野亨哉氏(鹿島道路)の5名が、会場の入り口に歓迎の言葉を述べた。

庄川・太田護岸その5工事(施工: 砺波工業)の講義とICT建設の美演、ドローン講習および高所作業車による現場視察が行われた。

見学会は、県の人材確保に貢献していると、91(平成30)年から、県内の建設関係学科生徒を対象に開催している。

# 高校建築志に職人技術伝授

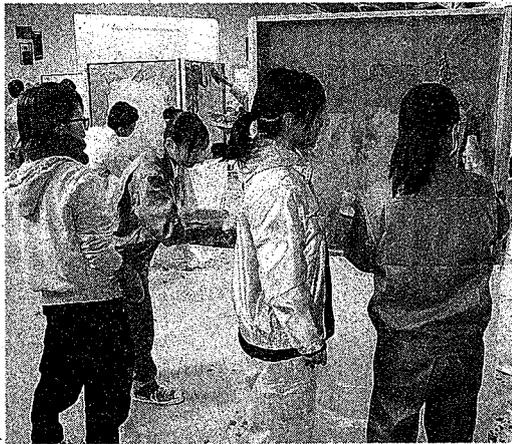
## 高岡工業で未来授業を開催

富山県建築士会(近江吉郎会長)などの県下建築関係7団体の青年組織は22日、高岡市の高岡工業高校で、「富山県高校建築志の

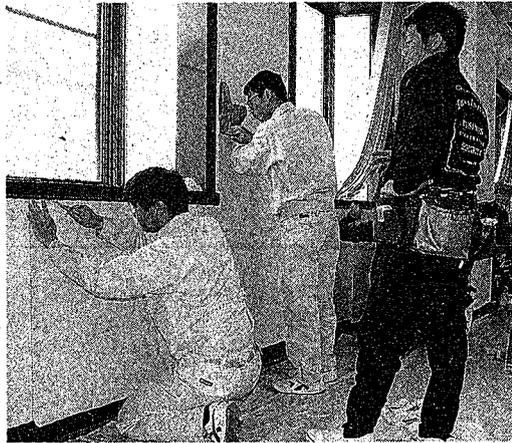
未来授業2019」を開催した。この日は、同校建築科と富山工業高校建築工学科の1年生各40名、建築関連団体の青

年層80名の総勢160名が集結。生徒に建築士の仕事を伝えることも、職人の仕事を体験してもらったことで、未来を考えたきっかけ、思いでスタート。担い

建築業界の未来へつながる機会とした。未来授業は、「将来の富山の建築をより良くしたい」との思いでスタート。担い



クロスの張り替え体験①と土壁塗りに取り組む生徒「高岡工業高校



手、職人不足が深刻化する中、建築を志す青年建築志がタッグを組み、未来を担う建築科生徒に技術や知見を伝授することで、建築への興味と関心を持ってもらえる授業を行うのが狙い。昨年、建築士会青年委員会(山崎寛生委員長)の呼び掛けにより、富山工業高校で初めて開かれ、2校合同での開催は今回が初となる。

「限目の授業では、建築士会が建築士の仕事内容、工程表を基に各業種の役割を紹介し、「建築士の仕事は、一つの形に向かいマネジメントする」と説明した。

続いて開会式が行われ、高岡工業高校の六家敬吉校長が、「建築のベースは学校で日々勉強できるが、第一線で活躍されている職人の仕事を体験できる機



参加した生徒と関係者による記念撮影

## 関連団体青年部ら160人集結

「の職種を午前と午後それぞれ体験。内容は①県建築組合連合会青年部協議会(梧桐秀貴議長)②木小屋組の製作体験の県瓦工事業協同組合青年部(須加智幸部長)③瓦葺き体験④真板金工業組合青年部(吉岡智佳部長)⑤寸法取り/角波貼りの体験⑥県左官事業協同組合青年部(松浦哲司部長)⑦土壁塗り体験⑧県建築協同組合青年部(河島隆志部長)⑨ミニチュア障子製作⑩県インテリア事業協同組合青年部(沼田秀和部長)⑪クロス張り替え体験」で、生徒はプロの指導を受けながら職人の技を学んだ。

終了後には、各グループごとに意見交換も行い、交流を深めた。なお実施に当たっては、おま住まいとまっつくり推進協議会の協成を受けた。

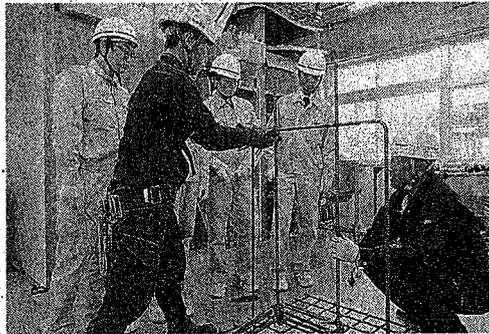
# 専門工事に理解を

## 型枠協会、鉄筋組合が講座

高岡工芸高で



型枠の組立作業に取り組む生徒



鉄筋の結束について説明する扇原理事長④

日本型枠工事業協会富山支部(富山県富山市)と富山県鉄筋工事業協同組合(扇原優二理事長)は22日、高岡市の高岡工芸高校で合同出前講座を開いた。生徒は座学と作業体験を通して、専門工事業について理解を深めた。

この日は土木環境科の1年生9人が参加。座学では、専門工事の内容や魅力を紹介したDVDを視聴。実習では会員が生徒に型枠組立や鉄筋の結束作業の手順を説明し、手本を示しながら指導した。

富山支部長は、「21業種ある専門工事は、どれか1つが欠けても、物が造れない。専門職を知ってもらいながら、新卒者に就職いただけるような環境も整えたいと話す。今春には富山工業高校の生徒1人が、会員企業に就職した実績を上げた」とする。

扇原理事長は自ら指導に当たり、生徒が慣れない手つきながらも、真剣に取り組む姿を見守った。「人手不足と高齢化は深刻だし、外国人労働者だけに頼ってばかりもいけない。まずはアピールしないと、型枠協会と連携して継続している。職人の面白さは伝わっていると感じるが、実際の就職につながるようになれば」と期待を寄せる。

出前講座は土木環境科の1年生を対象に開催。3回に分けて行われ、23回は20年1月を予定する。